

## 令和6年度 2学年 1学期課題研究発表会開催

- ◇期 日:令和6年7月16日(火)3・4時間目
- ◇場 所:本校至誠ホール
- ◇参加者:本校第2学年普通科・人文社会科学科  
・理数科学科生徒 240名



今回の発表会は、1学期の活動を振り返りながら、普通科のSS探究Ⅱと探究科学科のSS発展探究での活動を紹介して相互の交流をはかる初の試みである。普通科の探究活動に協力していただいているNOSE ART GARAGEの森松宏介さんと、森松さんがプロデュースし、探究Ⅱの授業ナビゲーターを務めるユニットグループ MisiiN のお二人をお招きし、2学年が行っている探究活動について理解を深めた。

第一部の仮説設定報告会では、まだ課題に対してイメージが持てない生徒たちの仮説設定に役立てるために、普通科・探究科学科の代表4グループが5分間の中で今まで進めてきた研究について発表した。実際に現地に行ってフィールドワークを行ったグループや、既に仮説の検証を行っているグループもあり、これからの探究活動のイメージが持てた生徒も多かったように思われる。藤井先生からはそれぞれのグループについての講評をいただいた。



第二部では、MisiiN のお二人に生演奏を披露していただき、そこから「個性の尊重」というメッセージを受け取った。また、今の私たちのような学生の頃の話や、貴重な経験になった。

第三部では、今年の普通科SS探究Ⅱのキャッチコピー「My Life is Art」のもと、どのように自分を“美しく”社会に機能させていけるかについて考えてきたことを踏まえて、「探究活動にアートは必要か」や、「アートはこれからの人生においてどう役に立つのか、どう使っていけるのか」というテーマで全員でディスカッションを行った。その中では、「制約がある学習のなかで、頭を柔らかくするためにアートは必要なのではないか」という意見や、「言葉と違い、芸術は視覚や聴覚をも介する多次元的な言語ではないか」という意見がみられ、探究とアートのつながりについて深く考える良い機会となった。

一見無関係のようにも思われる「アート」を学校に取り入れる動きが見られる近年、こうやってアート思考の理解を深めることは重要だ。これからの探究活動に今回の経験を生かしていきたいと思う。

